

輝 SONODA SPORTS PRESS

経験値教育。
園田学園女子大学
 園田学園女子大学短期大学部
 〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1
 [学部・学科]
 ●人間健康学部/総合健康学科 ●人間教育学部/児童教育学科
 人間看護学科 ●短期大学部/生活文化学科
 食物栄養学科 幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター

TEL 06-6429-9137
 FAX 06-6429-9116
 URL http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/index.html



全勝街道まっしぐら

絶対優勝

ソフトボール
 無敗で46度目

4月8日に開幕した平成30年度春季関西学生ソフトボールリーグ戦で、1部の本学は8戦全勝を収め、16季連続46度目のリーグ制覇を果たした。そのチーム力を象徴するかのようには、日本TOP、全日本大学選抜、U19の各カテゴリーで代表選手を輩出。走攻守そろって総合力を發揮し、全日本大学女子選手権（インカレ/8月31日〜金沢市）の栄冠奪還へ勢いが付いた。

どんな展開でも最後は勝つ

昨年、インカレ2連覇を決勝戦で阻まれたソフトボール部。「日本一奪還」を決意して迎えた今シーズン、屋瀬末奈主将（総合健康学科4年）がまとめるチームの実力が試された春季リーグ戦で、本学は相変わらず全勝街道を突っ走った。

下山絵理（総合健康学科2年）の予選リーグ第2戦で見せた2打席連続本塁打など投打で実力を発揮して快勝を重ねたリーグ戦だが、接戦に持ち込まれたゲームが2試合あった。予選リーグ第3戦の大阪青山大戦と、2次部別リーグ第4戦の大阪大谷大戦だ。

大阪青山大戦では序盤3回を完全に抑えられ、5回と7回には3塁まで走者を進めたが、あと一本がつかずならなかった。

タイブレークの8回表をきっちりゼロで封じると、その裏、下村歩実（総合健康学科2年）が3塁に進塁。相手は満塁策を選んだもの

- ◆平成30年度春季関西学生リーグ戦
 (1部1次予選リーグ)
 園女大 ○5-1 同志社大
 ○7-0 神戸親和女大
 ○1-0 大阪青山大
 ○2-0 立命館大
 (2次部別リーグ)
 園女大 ○4-0 関西大
 ○3-1 武庫川女大
 ○7-2 奈良学園大
 ○1-0 大阪大谷大
 ☆16季連続46度目のリーグ制覇



1部個人賞

最優秀投手賞 三原千空

ホームラン賞 下山絵理

の、途中代走出場の野瀬くるみ（総合健康学科3年）の犠牲フライで下村が本塁に突っ込み、貴重な1点をもぎ取った。

大阪大谷大戦では2回1死2・3塁の場面で、下村の内野ゴロの間に3塁から屋瀬が生還。この1点を守りきった。

昨年のインカレ初優勝のIPU環太平洋大も参戦する西日本インカレ（8月・徳島市）やインカレに進むと、こうした1点差ゲームをしぶとく勝ち切る強さが必要になる。春季リーグで経験した2つの接戦は、常勝チームを引き締めたことだろう。

ダブルス渡邊・小池 関西学生春季トーナメント 2連覇



小池はシングルスでは4強

最後の春季大会を優勝で飾った渡邊

テニスの関西学生春季トーナメントは5月20日に開幕し、女子ダブルスで本学の渡邊はるか（総合健康学科4年）・小池颯紀（同3年）組が決勝を5-7、6-4、10-5で勝ち、大会2連覇を達成。小池はシングルス4強と単複で活躍した。

ダブルスは全ペア初戦突破

単複のタイトルを争う春季トーナメント。個人戦とはいえ、本学は全日本学生選手権（8月）やチーム目標である全日本大学対抗王座決定試合（10月）の優勝に向けて挑んだ。

シングルスには6人が出場。5人が初戦を突破した。中でも小池は、神戸オーブンの優勝の実力を發揮して、2回戦準々決勝をストレート勝ち。進撃は準決勝



石井・西野組

で阻まれたが、8強だった昨年からの成長の跡を見せた。

ダブルスは前回優勝の渡邊・小池組と伊藤優子（総合健康学科4年）・東谷和（児童教育学科1年）組

まだまだやるべきことがある。その分だけ、渡邊、小池中心のこのチームには伸びしろが残されている。

主将の渡邊は「王座優勝を達成するためには、個人戦で一人ひとりが戦績を残し、それを自信に変えて、ハードルをクリアしていくことが必要です」と話す。望むものに近づくには、

というのも、チームが最も欲しているのは、秋の関西大学対抗リーグ戦から昨年出場できなかった全日本大学対抗王座決定試合へと勝ち進み、その栄冠を手にするからだ。

チームの課題も見えた。単複とも2回戦に勝ったのは、実績のある渡邊と小池だけ。主力コンビの成長は結果で示されたが、全体の底上げができたかと問われると、あと一歩、もの足りなさがある。

大学王座に向かつて

関西学生春季トーナメントの結果、小池、渡邊、伊藤、山口、東谷、石井、西野の7名が8月8日から開催される全日本インカレに出場することになった。



伊藤・東谷組



小林祐実子

バスケットボールの第39回全関西女子学生選手権は4月14日に開幕し、本学は3回戦に勝利して、4回戦に進んだが、関学大に59-65で敗れ、ベスト8進出はならなかった。

西日本は16強

本学は、昨年の全関西はシードされながら初戦で敗退し、今季は一つでも勝ち進みたいところ。3回戦から登場し、第1ピリオドから奈良教育大を圧倒。85-27と相手寄せ付けなかった。



谷村唯

8強進出あと二歩 逆転喫す

全関西女子学生バスケット



続く6月の第67回西日本学生選手権では、愛知淑徳大と大産大に快勝して4回戦に進出。大阪府立大に敗れたものの、第4ピリオドに一矢を報いた。

秋のリーグ戦に向けて

シーズン前半で見えたのは「明るくて元気なだけでなく、お互いに厳しさをもち、課題や改善点を指摘しあえるチームづくり」という課題。下吹越主将は「全員が練習メニューや一つひとつのプレーの意味を理解し、意識して取り組むことが大切。普段の練習から声を出し、チーム内で切磋琢磨しなければ」と、部員一丸でのレベルアップを促す。



主将・下吹越紗羅

副主将の小森瑠香(児童教育学科4年)も「チームの目標を達成するために園田のバスケットを楽しみ、ディフェンスでチームに貢献したい」と意欲を見せる。

バスケットボール部のリーグ戦は、今年も秋の「2部全勝優勝&1部昇格」することだ。昨シーズンは2部2位で進んだ1部との入替戦で1勝4敗と完敗した。その苦い経験があるからこそ、この秋は1部校に跳ね返されない闘志でぶつかっていく。

大会	成績
第39回全関西女子学生選手権	ベスト8
第67回西日本学生選手権	ベスト8
第63回西日本女子学生大会	ベスト8

剣道の個人戦で争われる



全日本(個人)逃す

岩崎・落合4回戦進出もあと1勝及ばず

剣道の個人戦で争われる。第48回関西女子学生選手権は5月6日、大阪市の舞洲アリーナで行われ、本学は6人が出場。岩崎比那(総合健康学科4年)と落合空(児童教育学科3年)が4回戦まで勝ち上がったものの、ベスト16には進めず、第52回全日本女子学生選手権への出場権は得られなかった。

しかし、ともに相手に面を先に打たれ、懸命に反撃を仕掛けたが、一歩及ばず敗退となった。悔いが残る結果に、主将を務める岩崎は「粘り強く勝ちに持っていきなかったのは、この大会に向けての努力の足りなさだと受け止めています」と話した。

あと1勝が...

2回戦に臨んだのは4人。そのうち、岩崎と奥平桜(総合健康学科2年)は胴を、落合は面・コテをそれぞれ決めて勝ち進んだ。岩崎と落合は3回戦も勝利。あと1勝して5回戦に進めば、全日本への出場権を獲得する4回戦に挑んだ。

大会	選手	結果
第48回関西女子学生選手権	岩崎比那	4回戦進出
	落合空	4回戦進出
第63回西日本女子学生大会	岩崎比那	4回戦進出
	落合空	4回戦進出

陸上競技部

堀出百花
総合健康学科4年

「関西インカレでは全員がひとつになって戦い、女子総合優勝につながりました。西日本インカレ、全日本インカレと試合は続きます。全国レベルの舞台になると厳しいですが、園田らしく元気に切磋琢磨し、ひとりひとりの努力がチームの底上げになるよう練習を積んでいきます。全日本では女子総合8位以内を目指します」

剣道部

岩崎比那
総合健康学科4年

「今年度の剣道部の目標は、西日本大会上位入賞、全日本大会出場です。全日本大会の予選である、秋の関西大会では今年はシード権がないため、厳しい組み合わせになる可能性があります。そこで勝ち上がるためには今まで以上にチーム力を大切に、「温故知新」をスローガンに掲げて部員一丸で取り組んでいきます」

バスケットボール部

下吹越紗羅
総合健康学科4年

「全関西女子学生バスケットボール選手権は勝てばベスト8の試合で負けてしまい、悔しさが残る大会でした。次のチーム目標を「秋のリーグ戦で2部全勝優勝し、1部に昇格する」に切り替え、主将としてもチーム目標を達成するために、私自身が新しいことにチャレンジし、レベルアップして、みんなをまとめていきます」

バレーボール部

大角維
総合健康学科4年

「春季リーグ戦では2部で優勝し、1部に昇格しました。また、全日本インカレ出場、秋季リーグ戦1部優勝を目標に日々練習に取り組みます。チームの課題はたくさんありますが、それらを克服するため、1日を大切に頑張っています。チーム力を今以上に向上させ、「全員バレー」で勝利を目指します」

テニス部

渡邊はるか
総合健康学科4年

「大切な場面で力を発揮できるような、自分の武器をコートで表現できるようになるまで練習に取り組み、どのような状況でも絶対にぶれない自信をつけたいです。チーム目標は『王座優勝』です。個々が戦績を残し、ハードルをクリアしていくことが必要です。先を読んで行動し、人としても選手としても大きく成長したいと思います」

ソフトボール部

屋瀬未奈
総合健康学科4年

「チーム目標は昨年準優勝だったインカレでの「日本一奪還」です。今年のチームはすごく仲が良いチーム。練習でも学校生活でも学年に関係なくコミュニケーションを取っています。チームの鉄則「全力疾走・全力プレー・カバーリング」をモットーに、誰からも応援されるチームとして、日本一になれるよう頑張ります」

主将の決意

1部昇格 関西大学バレーボール



バレーボールの2018年度関西大学春季リーグ女子2部は4-5月に行われ、本学は6勝1敗で2部優勝を果たし、秋季リーグは5季ぶりに1部で戦った。

最終戦でV決める

バレーボール部は2016年春季に1部から2部へ降格して以来、「1部昇格」を合言葉にプレーを磨いてきた。入替戦に進んでも1部校の壁は高く、我慢が続いた。今季のチームはポイントを取れるサーブ力、攻撃につながるレシーブ力の向上に取り組み、リーグを戦った。

初戦を3-0で発進し、4連勝。5戦目の大阪大谷大戦では1-0から1-2と逆転されたが、第4セットを26-24、第5セットを15-10と粘りの再逆転を見せた。京産大戦は一進一退の攻防。最終セットで力尽きた。しかし最終戦、全勝の神院大に0-1から3セット連



取で勝利し、6勝1敗で3チームが並んだ接戦をセツト率差で制した。チーム一丸でつかんだ1部復帰。主将の大角維(総合健康学科4年)は「秋季リーグでは1部優勝を目指し、全日本インカレ出場に向けても頑張ります」と

「次の仕事」に決意を見せる。春季リーグで発揮した粘りと安定感のあるバレースタイルで、新たな目標に立ち向かう。

◆関西大学春季リーグ(女子2部) 関女大

対戦相手	結果	スコア
同志社大	0勝	25 28 25 / 22 26 11
関学大	1勝	25 25 16 27 / 20 25 25
兵庫大	0勝	25 25 25 / 18 19 12
佛光大	1勝	25 16 25 25 / 17 15 19
大阪大谷大	2勝	15 26 17 23 25 / 10 24 25 25
京産大	3勝	12 25 22 25 / 15 25 12 25 21
神戸学院大	3勝	25 25 25 23 / 21 23 14 25

大会成績

1部昇格へ盛り上がり上がっていきます！

新チームが始まり、春の合宿に行ってきました。合宿中に出場した大会では「一戦一戦臨む」という目標を掲げ、チーム全員で優勝を勝ち取ることができました(写真)。今年度のチーム目標は「全戦全勝」で「1部昇格」。1年生が12人も入部を決めてくれたことも追い風です。ラクロス部に入ったことを後悔させないように、しっかりと上回生が引っ張り、充実した大学生活を送ってもらいたいです。リーグ戦へチーム一丸で頑張ります。

昨年を上回る成績を



今年度は「春と秋の関西リーグで2位、夏の全日本大学女子野球選手権大会で1回戦突破」が目標です。昨年度は春秋ともリーグ3位、全日本は1回戦敗退でした。今年度は1年生が多く入部し、レギュラー争いも激化しており、先輩後輩の壁を越え、切磋琢磨しています。学生リーグのほかに社会人チームとの交流戦や関西女子野球大会への参加、中高生チームとの合同練習や練習試合などの交流も増やしています。

どんな時も笑顔で全力演技



チャリデーティング部は2年生3名という少人数ですが、3月に西日本チャリデーティング選手権に初出場しました。若狭コーチの指導の下、練習してきた成果を出すことができ、大きく成長することができました。主な活動は、社会人アメリカンフットボールX2 WESTリーグのゴールデンファイターズの専属チャアや地域のイベント出演、学園祭の出演など。笑顔でよりよいパフォーマンスを届けられるよう、「どんな時でも、どんな場面でも全力で演技をする。」を目標に、練習に励んでいます。

園田から世界へ！ソフトボール日本代表

U19代表	全日本大学女子選抜代表				日本TOP代表
小西彩未 (内野手) 総合健康学科1年	中村優花 (外野手) 総合健康学科4年	屋瀬未奈 (内野手) 総合健康学科4年	椋山奈々 (捕手) 総合健康学科4年	下山絵理 (内野手) 総合健康学科2年	石川恭子 (内野手) 総合健康学科4年
アジア女子ジュニア出場	優勝を目指します	代表の自覚で勝利に貢献	チームに徹して優勝を	絶対に東アジア1位に	初のTOP代表
選出されたときはうれしく、両親や大学、ソフトボール協会など様々な方にサポートしていただくので、感謝の気持ちを忘れずにいようと思いました。大会ではチームメイトや相手チームから学べる機会がたくさんあり、勝利に貢献することもできたと思います。私はチームを引っ張っていくようなタイプではありませんが、小さなプレーからチームを支えられるような選手になりたいです。	代表入りは素直にうれしく、同時に園田の代表、大学日本代表としても責任があり、気が引き締まる思いです。いろいろな大学のメンバーが集まる代表チームでは、「日の丸を背負っているんだ」という自覚を持つことが大切だと思います。周りの状況を見て、自分がその時々でできること、チームのために率先してできることを精いっぱい行動で示して、優勝を目指します。	代表に選んでいただき、驚きました。チャンスを結果につなげたいです。園田の代表、大学生の代表、そして日本の代表としての自覚を持って、勝利に貢献し、優勝できるように頑張ります。チームには大学4年生から2年生までの選手がいますが、短期間の代表であっても、チーム一丸で戦うために周りを見て、技術面でもしっかりと役割を果たしたいと思っています。	選んでいただくことは、うれしい反面、自分で務めるのかという不安もあります。しかし、選ばれたからには、大学日本代表、園田の代表という自覚と責任を持ち、今持っている自分の実力を発揮して優勝したいと思います。チームで自分がどんな立場を任せようと、チームに徹してまいります。	代表に選ばれ、とてもうれしいです。誰もが国際大会に出場できるわけではないので、代表選手としての自覚と責任を持って、チームの勝利のためにしっかりと声を出し、雰囲気を高めて、全力でプレーしたいと思います。海外チームからもたくさんのことを吸収したいという目標もありますが、試合をするからには、積極的なプレーで絶対に東アジアで1位になりたいです。	トップ代表に選ばれたときは、とてもうれしく、その反面、日の丸を背負ってプレーしないといけないという責任を感じました。日米対抗は日本で開催されます。たくさんの応援があると思うので、応援のパワーを力に変えて、必ず勝って、次のステップにつなげたいです。チームのために自分がすべきことを考え、行動し、チャンスをものにできるように準備します。
<アジア女子ジュニア> 予選・決勝トーナメントを通して、日本は全勝で優勝	<第7回東アジアカップ/6月12日~15日/台湾> 本学から4選手が代表入りした全日本大学女子選抜が大会2連覇を達成!予選リーグ1位の日本は、決勝トーナメントの決勝戦でチャイニーズ・タイペイと対戦。先発マスクの椋山奈々が適時打を2本放つなど活躍し、7-3でライバルを退けた。				<日米対抗/6月> 第1戦 日本4-0米国 第2戦 日本6-3米国 第3戦 日本2-0米国

陸上 関西学生女子総合2位

那須(棒高跳)優勝 リレーは今年もW入賞

陸上競技部が創部10年目のシーズンを飾る躍進を見せた。5月の関西学生対校選手権(関西インカレ)では優勝1・入賞19と健闘し、3年連続4位だった女子総合得点を争いで過去最高の2位に駆け上がった。



3m90をクリアし、頂点に返り跳した那須

那須インカレ3冠へ
チームの快進撃は、棒高跳の那須真由(総合健康学科4年)から始まった。那須は3m90を1回でクリアし、2年ぶり3度目の関西制覇。昨年は関西&西日本&日本学生の3大インカレのうち、関西のタイトルだけ逃した。今季は「インカレ3冠」に再挑戦する。那須の自己ベストは4m



400mH 横田華恋

01。昨年の学生日本一の称号を胸にさらに高みを目指している。「その先にいかないと、目標にしている日本選手権3位以内に入りたい」意欲をかき立てていた。

快挙！トリプル入賞
棒高跳では竹上ほの香(総合健康学科4年)が4位、平田美和(児童教育学科1年)が7位となり、トリプル入賞を達成。さらに、横田華恋(食物栄養学科2年)が3位に入った400mハードルも、栗谷瑞希(同2年)が4位、安達真咲(総合健康学科2年)が6位と出場3人全員が入賞した。



今年もW入賞。400mリレーと1600mリレーのメンバー

インカレ総合8位が目標
走・跳・投・混成の各種目で入賞者を並べた陸上競技部。主将を務めた堀出は

リレーも、ルーキーも
400mでは稲岡真由(食物栄養学科4年)が故障からの復活を告げる3位入賞。稲岡と同6位の堀出百花(総合健康学科4年)を中心にまとまった4×400mリレーも3位と健闘した。
200m8位の近藤亜友美(同学科3年)を擁する4×100mリレーは4位。両リレーとも、園田最高記録に迫る好タイムだった。
1年生も活躍した。今春発足した駅伝競走部の1期生・今枝紗弥(食物栄養学科1年)が1500mで4分33秒33の園田新をマークして5位に入賞すると、やり投の栗原千賀子(総合健康学科1年)も園田新となる48m06を投げて3位に入った。



400m 稲岡真由



天皇賜杯第86回日本学生陸上競技対校選手権大会 棒高跳競技 那須真由 優勝祝賀会

那須インカレV祝賀会
2月28日、前年の日本学生対校選手権女子棒高跳を制した那須真由選手の優勝祝賀会が齊藤藤一理事長、川島明子学長も参加して行われ、那須選手は多くの応援・サポートに感謝し、大会2連覇を誓いました。

- ◆兵庫学生対校選手権(3位以内)
 - ▽100m①近藤12秒49▽200m①鈴木25秒44②後藤25秒51▽400m①堀出57秒09▽400mハードル①横田1分01秒27②小澤1分02秒60③安達1分02秒80▽4×100mリレー①園田大(藤原・大塩・百足・平田)47秒30▽4×400mリレー②園田女(小澤・栗谷・春本・堀出)3分53秒83▽走高跳③磯丸1m66▽三段跳③宮川1m74▽砲丸投②岩本13m25③今井12m65▽やり投②神田46m31
- ◆関西学生対校選手権(8位以内)
 - ▽200m⑧近藤25秒37▽400m③堀出57秒09⑥堀出55秒65▽800m④堀出2分13秒14▽1500m⑤今枝4分33秒33▽400mハードル③横田59秒84④栗谷1分00秒82⑤安達1分01秒03▽4×100mリレー④園田女(近藤・堀出・鈴木・平田)45秒80▽4×400mリレー③園田女(横田・堀出・栗谷・堀出)3分42秒58▽棒高跳①那須3m90④竹上3m40⑦平田3m40▽走幅跳⑦大浦5m64▽三段跳⑥宮川12m27▽砲丸投④岩本13m02⑤今井12m94▽円盤投⑦松本38m10▽やり投③栗原48m06▽七種競技⑥園田45分55点
- ◆日本学生個人選手権(8位以内)
 - ▽400m⑥堀出56秒15▽400mハードル⑥堀出1分00秒26▽走幅跳⑦大浦5m74

「私たちの目標は昨年の先輩チームを超えること。日本インカレ(9月)では女子総合8位以内」と意欲的な目標を掲げる。
夏の鍛錬が秋にどんなふうに見えるのか。個々の成長が楽しみだ。

TOPICS

そのだスポーツフェスティバル開催



強化クラブ学生による小中学生向けスポーツ教室
2018年2月24、25の両日、そのだスポーツフェスティバルと称して、本学の6強化クラブ学生が教えるスポーツ教室が開催されました。尼崎市、伊丹市、宝塚市、西宮市の小中学生を中心に157名が参加しました。
このスポーツ教室は学生が主体となって指導案を考え、参加者に教えることをコンセプトにしています。参加者である地域の小中学生は全国大会レベルで活躍する選手から直接教わることができ、学生は入念な準備の元で指導するという貴重な経験をすることができました。
「丁寧に教えてくれた」「レベルの高い競技が見られた」などと参加者の満足度も高く、本学のスポーツクラブをアピールする良い機会となりました。
また、学生からも、「いい経験になった」「次回の開催時は、指導だけでなく、運営も行いたい」といった意欲的な感想が聞かれました。

応援をよろしくお願いします! 今後の主要大会スケジュール

テニス部	<ul style="list-style-type: none"> 全日本学生選手権(8月8日~19日:岐阜市) 関西学生選手権(8月22日~29日:大阪市) 関西大学対抗リーグ(9月3日~11日:吹田市) 全日本大学対抗王座決定試合(10月9日~14日:松山市) 全日本選手権(10月24日~11月4日:大阪市) 関西学生地域トーナメント(10月27日~11月25日) 全日本学生室内選手権(11月25日~12月1日:吹田市)
ソフトボール部	<ul style="list-style-type: none"> 西日本大学選手権(8月3日~6日:徳島市) 全日本大学選手権(8月30日~9月3日:金沢市) 全日本総合選手権(9月14日~17日:常陸太田市) 関西学生秋季リーグ(10月) 関西学生新人戦(10月)
バスケットボール部	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県総合選手権(8月25、26日) 関西女子学生教育リーグ(12月16、17日)
バレーボール部	<ul style="list-style-type: none"> 西日本大学選手権(6月27日~30日) 関西学生秋季リーグ(9月9日~30日) 全日本大学選手権(11月26日~12月3日)
剣道部	<ul style="list-style-type: none"> 関西女子学生優勝大会(9月30日:大阪市) 兵庫学生新人戦(10月14日:神戸市) 全日本女子学生優勝大会(11月11日:春日井市) 関西学生新人大会(11月25日:東大阪市)
陸上競技部	<ul style="list-style-type: none"> 日本学生個人選手権(6月15~17日:平塚市) 日本選手権(6月22日~24日:山口市) 西日本学生対校選手権(6月29日~7月1日:沖縄県)

2018年度クラブ新入生

- 【テニス部】** 北垣内志帆(安田女子・広島) 西原もか(園田学園・兵庫) 東谷和(大産大・大阪)
- 【ソフトボール部】** 池田悠華(広島商業・広島) 川崎綾音(伊勢学園・三重) 北口花乃(津商業・三重)
- 明音(筑陽学園・福岡) 小西彩未(木更津総合・千葉) 近野結美(藤村女子・東京) 竹内みのり(藤村女子・東京) 藤森捺末(徳島商業・徳島) 松田菜々子(日南学園・宮崎) 元川環(中村学園女子・福岡) 山地咲希(熊本商業・熊本)
- 【バスケットボール部】** 西山美優(奈良文化・奈良) 杉本舞(奈良文化・奈良) 長坂桃佳(桜丘・愛知) 本郷夏美輝(中村学園女子・福岡)
- 樋口里衣奈(須磨学園・兵庫) 稲井朋香(明浄・大阪) 吉田紗香(四条畷・大阪) 塚本真帆(日ノ本・大阪)
- 【バレーボール部】** 中西杏実(氷上・兵庫) 田畑舞華(高砂・兵庫) 大橋麻由(氷上・兵庫) 岡田美里(鎮西・熊本) 横山葵(金蘭会・大阪) 加藤萌(都城商業・宮崎) 佐藤萌々華(沼田・広島) 春木美紗(神戸高塚・兵庫)
- 岡崎安湖(伊川谷・兵庫)
- 【剣道部】** 新菜摘(尼崎小田・兵庫) 山田悠帆里(草津東・滋賀)
- 【陸上競技部】** 石橋奈月(聖カタリナ学園・愛媛) 井筒玲華(姫路飾西・兵庫) 梅崎優花(桜宮・大阪) 尾田幸音(園田学園・兵庫) 黒田愛香(添上・奈良) 栗原千賀子(福岡大学附属若葉・福岡) 小西萌乃(西城陽・京都)
- 佐伯美奈(大阪桐蔭・大阪) 四方夢(西城陽・京都) 穴戸絢(姫路商業・兵庫) 鈴木桃果(大阪桐蔭・大阪) 竹前奈理(夙川学院・兵庫) 時田莉帆(西宮今津・兵庫) 中透恵里(城南学園・大阪) 中野美緒奈(神戸高塚・兵庫) 野田朱音(敬愛・大阪) 姫野万里乃(京都橘・京都) 平田美和(尼崎双星・兵庫) 馬場遥香(園田学園・兵庫) 細川凜(大阪・大阪) 松本あゆみ(園田学園・兵庫)
- 松本奈夕(大阪桐蔭・大阪) 三浦由美香(金井・神奈川) 村上歩美(大塚・大阪) 安田明日翔(夙川学院・兵庫) 山本紗也夏(園田学園・兵庫)

*カッコ内は出身高校